



一般社団法人 日本レジャーホテル協会 会報

(旧日本自動車旅行ホテル協会)

2016新春講演会および賀詞交歓会、開催

去る、2月10日、恒例となりました一般社団法人 日本レジャーホテル協会が主催する新春講演会ならびに賀詞交換会が、業界関係者、約330名が集い、目黒雅叙園にて盛大に開催されました。



清水祐侍会長挨拶

皆様、こんにちは。平素は、日本レジャーホテル協会に深いご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。深く御礼申し上げます。



さて、冒頭、皆様にひとつご報告がございます。当協会の企画でスタートした、義援金付きのオリジナルミネラルウォーターですが、おかげさまで今月、累計販売本数が1000万本に達する見込みになりました。販売開始以来、約4年半となりますが、皆様のご支援により大きな節目を迎えることができそうでございます。ということは、このミネラルウォーターは1本1円の義援金をお預かりしておりますので、もうすぐ1000万円の義援金寄付をさせていただけるということでございます。この義援金がスタートしたのは忘れもしない、あの5年前の東日本大震災を契機としてスタートしております。その時も当協会でも皆様から義援金を募り、皆様にもたくさんのご支援をいただきました。その時から数えますとすでに2000万円を越える義援金を被災地に贈ることができました。本当にありがとうございました。

話は変わりますが、最近何かと話題になっている民泊ですが、皆様、どのようにお感じになっておいででしょうか。確かに、いま、インバウンドで海外からの訪日客が増え、宿泊施設がひっ迫しているという感じはございます。これから東京オリンピックにむけ、こうしたインフラの整備は大変重要であると私も感じております。しかし、だからと言って、その対応策として民泊？という、私はちょっと違うのではないのかなと思ってしまいます。規制緩和の名のもとに、これまでの旅館業法で守ってきたルールが、ぐちゃぐちゃになってしまうのではないのかなと大変、危惧しております。

それであれば、今既にある、レジャーホテルの数、およそ7000店舗、15万室を有効に活用すれば、こういう問題ももっと簡単解決できるのではないのかなと私は思います。どんなトラブルが発生するか予測のできない民泊より、はるかに安全、安心に宿泊施設の供給をできますし、そのための努力を今後、業界としても取り組んでもいいのではないかなと思っております。

とはいいいましても、私が一人で叫んでみたところで、誰も話を聞いてはくれません。やはり、皆さんとともに大きな声にしていかなければ何も変わりません。幸い、私どもの協会は、全国各地の提携団体も含め、北海道から、九州、沖縄まで、文字通り全国を網羅した日本レジャーホテル協会が形になってきていると思います。これだけの人が集まって、筋の通ったことをしっかりと発信していけば、何か変えることができるのではないかなと思っております。

一例をお話しさせていただきますと、神奈川県では、県の旅館業条例で、これまで客室内の自動精算機の使用が禁止されている条項があったのですが、これについての有効性や禁止されている不当性を訴える中で、昨年、この条例が改正されました。しっかりと声を上げることでこうした具体的な変化に結び付けることも可能であると考えております。

たとえば、いま4号営業の風営法管轄ホテルは、誘導看板などを設置することができません。もしかするとそのことによって死活問題で困られている店舗さんも多いのではないかと思います。こういうことも、業界がしっかりとまとまれば、じゃあ話を聞こう、こういうやり方ならどうかというような知恵も出てくるのではないかと思います。こうした一つ一つのテーマを持ち寄って、皆さんの声や力を結集して、ぜひ良い変化を作り出していきましょう。当協会にわれわれが集う究極の目的は、国民の福祉に貢献できる健全な業界発展を進めることです。ともに力を合わせて頑張りましょう。

清水祐侍

📄 新春講演会

賀詞交歓会に先だち、新春講演会が開催されました。新春講演会では、「開運なんでも鑑定団」「ブリキのおもちゃ博物館」でおなじみの北原照久さんをお迎えし、「夢の実現！ツキの十か条」と題してご講演をいただきました。北原先生は、若いころからこうなったらいいなと思うことをずっと思い続け、何十年もかかり、今そのすべてを実現させたといっておられました。「叶う」という漢字は、口に十と書きますが、夢をかなえるためには、それを信じて、口に出して何度も人に話して、そのことを具体的にイメージさせていけば必ずかなうものだそうです。多くの人は、夢を語るときに、そんなこと無理だとか、起こるわけない、とか勝手にあきらめてしまいがちですが、そうではなくて、どうやれば実現できるのか、そのために何をすればいいのか、ずっと考えて、語って、

理解してくれる仲間を増やして、具体的にイメージを膨らませていくこと、そして、それを何年かかっても持ち続ける、言い続けること、が最も大事だとおっしゃっていました。先生のこれからの夢は、70歳までに宇宙に行くことだと語っておられました。新春からとても明るく希望が膨らむ講演会となったと思います。



セミナー内の様子：160名のご出席



講師：北原 照久 様

☰ 賀詞交歓会

賀詞交歓会では、日頃よりご支援を頂戴している来賓の皆さまより、あたたかく心強いお言葉を頂戴いたしました。清水会長の挨拶を受け、民泊について、「もっとレジャーホテルを活用できないか前向きに検討したい」というお話や、「困ったことがあったら相談にのるよ」、など、これまで接点の薄かった政治関係と確実にパイプができつつあるように感じるご挨拶でした。超党派の議員連盟を作るという構想もあり、当協会の活動に文字通り深いご理解をいただいた機会になったのではないかと思います。また、今回の賀詞交歓会では、昨年より提携団体になられた4つの団体と固い握手を交わしました。今回、新たに提携団体になったのは、「一般社団法人 九州ホテル協会」様、「佐賀県レジャーホテル協会」様、「青森県ホテル協会」様、「大阪府ホテル協同組合」様の4団体様で、今後、相互事業に協力し、意見や情報の交換を行い、互いに協調していくことが確認されました。このあと、昨年より提携になりました福島県レジャーホテル協会の橋本会長のご発声で乾杯を行い、宴席となりました。後半には、恒例のショータイムもあり楽しい時間を共有することができたと思います。



賀詞交歓会：330名会場内の様子



4つの提携団体との硬い握手



平沢勝栄様と硬い握手